

# 保健だより 11月

令和6年11月1日  
石川県立ろう学校  
保健室

校庭の木も紅葉はじめ、冬の到来を実感する今日この頃です。

そして、冬と言えば、かぜ・インフルエンザやノロウイルスなど、さまざまな感染症が流行しやすい季節です。これまでと同様、こまめな手洗いと風邪症状があるときは咳エチケット(おたがいに移さないようにするためのルール)も忘れず感染症を予防していきましょう。



## 11月の保健行事



11月1日(金) 午前

(小1~3年) 体重測定

11月5日(火) 午前

(幼) 体重測定

11月6日(水) 午前

(小4~6年) 体重測定

11月18日(月) 午前

飲料水水質検査

11月6日(水)から11月15日(金)

中・高 体重測定週間



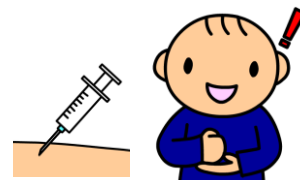
## ＜視力検査をしました＞

本校では4月と10月に視力検査を実施しています。目を駆使することが多い本校の幼児児童生徒の視力管理はとても大切になってきます。4月と比べて視力が落ちた、眼鏡が合っていないのでは?など疑われる場合はお知らせをいたします。夏季休業中等にすでに受診されているお子さんへも今回の結果としてお知らせをしています。ご自宅でお子さんの様子を見られ、気になることがありましたら再受診をお願いします。



## 石川県感染症状況について(石川県感染症情報センターより)

現在、石川県では手足口病の感染者数は減少傾向にあるものの6月12日以来、警報発令が継続中です。また、これからはインフルエンザ感染症が流行する季節に入ります。インフルエンザ予防接種は、接種後2週間程で抗体が増え始め、1~2か月後に最も効果が高くなり、効果は5か月くらい続くとされています。受験生の方は受験のある時期に合わせて接種を考えると良いでしょう。予防接種を打ったからといって罹患しないという訳ではありませんが重症化を防ぎ、また接種効果率は60%程あるので特に基礎疾患のある人は主治医と相談の上、受けることをお勧めします。



# マイコプラズマ肺炎が急増しています

国立感染症研究所によると、6月頃からマイコプラズマ肺炎患者数が増加しており、9月末時点で過去10年間で最多となっています。石川県内では1医療機関あたり1.6人程度ですが全国的に増加傾向にあります。

マイコプラズマは飛沫感染や接触感染で広がりますが、潜伏期間が2～3週間と長くどこで感染したのか分からない場合が多いです。

発熱、倦怠感、頭痛、咳等の症状がありますが、咳が長引く場合は感染が疑われます。これから少しずつ肌寒くなりますが、換気や手洗いなどできることから予防していけると良いですね。



てあら  
手洗いといえど..

学園祭前の10月4日に高等部生徒を対象に手洗い指導が行われました。高等部は学園祭の学部コーナーで喫茶を開店するということで、きれいに手が洗えているのか手洗いチェッカーや

ブラックライトを使用して再度、手洗いのコツをつかんでいました。



自分ではきれいに洗っているつもり...だけど、爪のまわりや皮膚のシワの部分、指と指の間に洗い残しが多いようでした。

特にちょっと爪の長い人は爪の間の汚れを落とすのが大変でしたね！



## おしらせ

学校の子どもたちは給食後の歯みがきをがんばっていますが、中には歯ブラシの毛先が広がっている歯ブラシもあります。同じ歯ブラシを1～2か月使っているものは交換をお願いします。

